

全力結集で挑戦し、
未来を創る

令和2年度の挑戦

元気な地域社会づくりを支援する

JA全農は3か年計画(令和元~3年度)において5つの最重点事業施策を策定しました。全農の5年後、10年後を見据えた取り組みを5回シリーズで紹介しつづけます。

地域の暮らしを支えるライフライン対策

生活拠点の維持につなげる

- JAや地域からの要請にもとづく店舗の改装・業態転換の提案や、地域に必要な機能を付加したモデル店舗の提案を進め、地域の生活拠点の維持を支える
- 中山間地を含む地域全体のエネルギーインフラ基盤維持・強化のため、SSの統廃合・セルフ化と電気・石油・LPガスをベストミックスさせたホームエネルギー事業を展開



直売所を併設したファミリーマートとの一体型店舗



燃料安定供給に向けたSSのセルフ化

JAグループのネットワークを活用した農泊支援

地方へ人と消費(需要)を呼び込む

- 近年注目が高まっているワーケーションや地域交流、移住の要望に応え地域活性化の礎となる「農泊」の事業化を進める
- 農泊ポータルサイトの運営をはじめ、各地のJA等と連携し、モデル地区でのイベント(農業体験他)の実施や農泊の開業マニュアルの作成、空き家管理サービスの事業化などを進めている



農泊における農業体験イメージ

農泊ポータルサイト
「農泊.net」

地域情報を一元的に集約・発信し、宿泊や農業体験を一連で予約・決済できる機能を備えたポータルサイト



コロナ禍での取り組み

- 全国のAコープ店舗で「食べて・飾って 和牛プレゼントキャンペーン」を実施した。国産黒毛和牛400g(約5千円相当)の2,500名プレゼントには、約5,500名の応募があり、新型コロナウイルス感染拡大により大きな影響を受けている国産和牛等の消費回復・拡大を図った。



Aコープ店内に併設した農産物直売所